

7 けいれん(ひきつけ)を 起こした時



知りたいQ&A

Q.

けいれんを起こすと脳がおかしくなったりしませんか？

A.

通常のけいれんで脳に後遺症が残ることはまずありません。例外として、1時間以上、けいれんが続いた場合は後遺症の心配があります。また、けいれんの原因が、脳炎や急性脳症であれば後遺症を残す可能性が高くなります。

1時間以上は注意!!

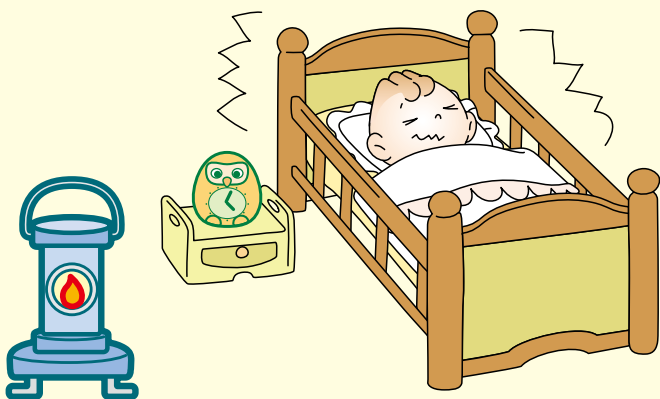


Q.

急に熱が出て、手足やからだがブルブルふるえています。意識ははっきりしています。これはけいれんでしょうか？すぐに救急外来を受診したほうがよいでしょうか？

A.

寒けでふるえているだけで、けいれんではありませんので、急いで受診する必要はありません。「悪寒(おかん)」といいます。) あたたかくして様子を見ましょう。



Q.

はげしく泣いたあとに息が詰まったようになって体がつっぱってしまいました。これは、けいれんでしょうか？

A.

泣き入りひきつけ(医学用語では憤怒(ぶんぬ)けいれん)です。つっぱるだけでなく、全身の力が抜けることもあります。「ひきつけ」とか、「けいれん」という名前がつきますが、本当のけいれんではなく、強く泣いただけです。自然に回復するので心配ありません。



Q.

けいれんの後に眠ってしまいました。このまま様子を見てかまわないでしょうか？

A.

けいれんの時には、脳は異常に活発になっており、けいれんが治まると脳が一時休んだ状態になります。見かけ上は眠っているようになり、この状態を後睡眠(こうすいみん)といいます。脳の活動が回復すると、目ざめて心配ないことがほとんどですが、1時間以上目ざめそうにない時は、救急外来を受診したほうがよいでしょう。

